

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公共下水道(負担金・使用料徴収業務)		基本目標	公共下水道の整備と水洗化率の向上			
担当課(局)・係	上下水道課	下水道係	記入者	芥田賢治	評価者	日野祥二	開始年度 H7 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	下水道受益者						
	意図・目的	公共下水道が整備された地域内の土地所有者に下水道事業にかかる事業費の負担金を徴収するとともに、下水道接続者から施設の維持管理費の費用として使用料を徴収する。						
事業の内容	負担金については、公共下水道が整備された地域の方だけが受益を受けるため、事業にかかる事業費のうち相応分の負担(375円/m <sup>2</sup> )をいただく。また、使用料については、汚水の処理費用として下水量に合わせて使用料を算出し賦課徴収する。							
23年度決算額	8,929	千円	24年度予算額	8,820	千円	事業従事者数	H23 0.64 人 H24 0.64 人	
主な支出項目		千円	国庫支出金		千円	23年度人件費	4,568 千円	
		千円	県支出金		千円	24年度人件費	4,572 千円	
		千円	地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)	100.0 %	
	一般財源	8,929	千円	一般財源	8,820	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-			
	補助交付団体		補助金要綱		-			
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	- 千円 終期 - 年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		補助の割合	-	%				
繰越額		-	千円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 負担金徴収額	公平公正の観点から受益者の方々から適正に負担金をいただき、下水道事業の建設費に充てていく。
	2 使用料徴収額	下水道事業の健全な運営に必要なものであり、徴収額によって下水道事業が良好かどうか判断されていく。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 負担金納入率	毎年賦課される負担金の確定作業と納付書の発行。特に滞納者への督促を行い納入率の向上を図っていく。
	2 接続率	使用料収入を上げるためには、接続率を向上させることが必要である。そのため未接続世帯への接続依頼や広報による周知を行い接続率向上に努める。
	3	

◎達成状況

指標名	単位	22年度	23年度	24年度
		目標値	16,458	12,314
成果指標	千円	実績値	18,534	18,153
		達成率	112.6%	147.4%
		目標値	81,621	81,621
使用料徴収額	千円	実績値	87,805	88,926
		達成率	107.6%	108.9%
		目標値		
活動指標	%	目標値	100	100
		実績値	96	96
		達成率	95.6%	96.1%
負担金納入率	%	目標値	72.0	72.0
		実績値	71.2	75.3
		達成率	98.9%	104.6%
接続率	%	目標値		
		実績値		
		達成率		

事務事業名	公共下水道(負担金・使用料徴収業務)	担当課(局)	上下水道課
-------	--------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	公共料金の徴収と同様であり町が行うべきである	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	下水道接続普及員の戸別訪問により接続率が伸びてきている。今後も接続の依頼を積極的に進める必要がある。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	電算化や水道事業と同時徴収等、経費や時間の削減に努めている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性	料金等の徴収であるためそぐわない。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			11

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)	◎公益性が高いか	
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)		0
その他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	担当者の方針に対する評価者としての所見	今後の方向性																				
			事業の方向性																			
◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	負担金については、徴収嘱託員を雇用することにより効果が表れると考えるが、財政上の問題もあり困難である。方針としては、担当者の意見のとおり進めているが、接続推進員が不在となり、今後の水洗化率の向上に向けた取り組みを進める必要がある。	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充			○		維持					縮小					廃止				
		拡充			○																	
維持																						
縮小																						
廃止																						
		<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト															
廃止	縮小	維持	拡充																			
コスト																						

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続件数の増加と、未徴収金の徴収方法を考えなければならない。</li> <li>・水洗化率を高め、使用料収入の増加に努める手段の検討を求める。また、使用料徴収根拠法令によっては評価対象外となる。</li> <li>・水洗化率を高めるための手段を事業とすべきである。</li> </ul>	◎今後の方向性
	事務事業評価委員会
	判定: 維持
	外部評価委員会
	判定: <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; transform: rotate(45deg);"></span>